

港区派遣型一時保育・育児支援家庭訪問 あい・ぽーと子育てサポート事業

利用会員の皆様へ カバイ通信 第10号

2008年11月15日

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

住所：〒107-0062

東京都港区南青山2-25-1

電話：03-5785-1577

FAX：03-5786-3264

子育て・家族支援者養成講座事務局

(副施設長 池田)

「カバイ通信」は、2月・5月・8月・11月との15日に発行します。ホームページから、ご覧になれます。

<http://www.ai-port.jp/>



「カバイ」とは、ニュージーランドのマオリ語で「ありがとう」という意味です。この事業は、ニュージーランドのプレイセンターの活動に学ぶ面もあって、マオリ語を用いました。

◆◆会員の皆様からの声◆◆

～利用者より～

- ・ 急な支援の依頼にも、スケジュールを合わせて支援をして下さり、支援者さんにはいつも感謝しております。本当にありがとうございます。(鬼頭さんより)
- ・ いつも一時保育「あおば」や派遣の支援者様が大変お世話になっております。「あおば」に初めて息子を預けた日は、今頃泣いているのではないかと親の方が心配いたしました。お迎えのとき「あおば」のガラス戸越しに覗くと、先生方に「大ちゃん、大ちゃん！」と声をかけられながら笑顔で走りまわっている息子の姿を発見しました。初日からこんなに慣れるのはめずらしいこと…と関心したことを覚えております。また、自宅に来ていただいている派遣の支援者様も、いつも息子の安全を守りながら熱心に遊んで下さり、心から感謝しております。支援者様が帰られたあと、お気に入りの歌に支援者様の名前を入れて歌っている息子の姿を見るたび、本当に「あいぽーと」にお願いして良かったと感じております。(中西さんより)

～支援会員より～

- ・ 支援活動を通して、子育て中の保護者の方の大変さ、ご多忙さを実感しています。だからこそその支援と心してやらせて頂いております。Sちゃん(1歳)は、パパがご帰宅されても、私にしがみついて離れず、戸惑いましたが、パパからは、「これでOKだよ」とのお言葉を頂きました。生きがいを感じています。(影島さんより)
- ・ 利用者さんの仕事の都合で、支援中に延長になり、11時間になったことがありましたが、長時間と感じることなくお子さんと接することができたことは、私にとって嬉しい結果でした。身をもって生涯学習しているんだと思うこの頃です。(久米さんより)

◆◆利用者さまへのお願い◆◆

ご登録内容・依頼内容に変更がありましたらご連絡下さい

2008年12月中旬に、派遣型一時保育事業の支援会員として活動して下さる「子育て家族支援者2級V期」の認定者が誕生する予定です。このため事務局では、まだご要望にお応え出来ていない利用会員の皆さまに、新たな支援者さんをご紹介させて頂くための準備を進めております。ご登録頂いている内容(お子さんの誕生など)やご依頼の内容に変更がおありになりましたら、事務局までご連絡下さい。出来るだけ、皆様の現在のご要望にお応え出来るように、努めて参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い致します。

保育記録用紙を綴じるファイルがあります

利用者さんと支援者さんに作成して頂く保育記録用紙は、お子さんの成長の記録でもあります。大切に保管して頂けるように、事務では、用紙を綴じるファイルをご用意しております。ご希望の方は、事務局までお気軽にお問い合わせ下さい。



◆◆事務局よりお知らせ◆◆

事務局体制について

事務局スタッフとして、吉田に代わり塩澤と松本(春美)が新しく加わりました。大日向施設長のもと、池田、小貫、塩澤、松本(春美)で、皆様のニーズに添うよう努めてまいります。今後ともどうぞ、よろしくお願い致します。



※「カバイ通信」は、8月、11月、2月、5月の15日に発行しますので、ホームページからご覧下さい。(http://www.ai-port.jp/) 尚、ご覧頂けない場合は、FAX又はご郵送いたしますので、お手数ですがお電話にて事務局までお知らせ下さい。